



アカザエビ

駿河湾内

主な漁業と漁期

小型機船底びき網漁業: 9月～5月
えびかご漁業: 12月～3月

生態

アカザエビは日本周辺で漁獲されています。高級食材として知られ、需要や単価が高い重要な水産資源となっています。

●成長・産卵

体長20cm程度になる深海性の大型のエビで、10～11月ごろに384個～1500個の卵を産むとされています。卵から生まれた後はゾエア期を経ずメガロパ幼生へ成長し、その後20日程で稚エビへと変化します。一方で成長速度は遅く、えびかご漁業で漁獲される大きさになるまでに、最低でも5年以上かかるとされています。

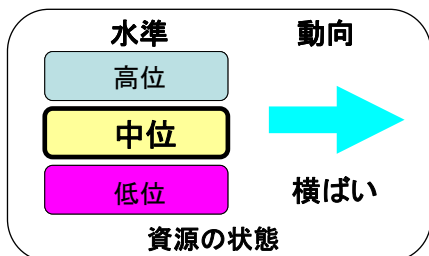
●分布

銚子沖から日向灘の水深200～400mの砂泥底に穴を掘り生息しています。静岡県海域においても、相模湾、駿河湾及び遠州灘にかけて分布しています。



アカザエビのメガロパ幼生
(すでに親エビに近い形をしています。)

漁業・資源動向



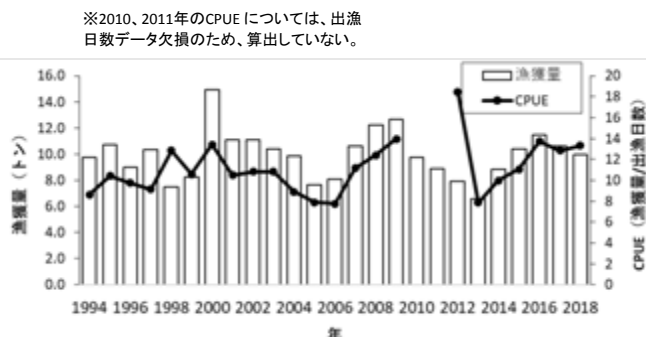
【資源】

小型機船底引き網漁業は1994年以降、えびかご漁業は1997年以降、漁獲量と漁獲努力量(CPUE)は共に横ばい傾向にあることから、資源水準は中位、動向は横ばい傾向と判断されます。

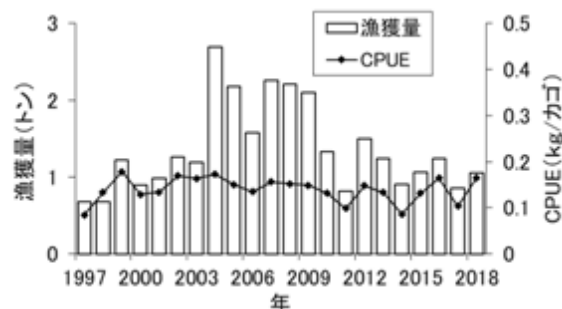
しかし成長速度が遅く、資源状態が悪化すると回復に時間がかかることから、漁獲圧を高めすぎないように注意が必要です。

【漁業】

- ・駿河湾内では主に小型機船底引き網漁業とえびかご漁業で漁獲されます。
- ・小型機船底びき網漁業は知事許可漁業、えびかご漁業は承認漁業として操業しています。



沼津地区の小型機船底びき網漁業におけるアカザエビの漁獲量とCPUE



えびかご漁業におけるアカザエビの漁獲量とCPUE

担当者の一言: アカザエビ科の仲間は日本のみならず、世界的に人気のある高級食材です。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所資源海洋科 054-627-1817